



若者の進路意識から見える 未来のカタチ

～静岡県内3,000人の高校生調査が示す地域の役割～

若者の「流出」は地域にとって頭の痛い問題といわれます。
しかし、若者にとっての問題とはどのようなものなのでしょうか。
若者たちはどのように進路を選び、自分の将来をイメージしている
のでしょうか。

県内高校生3000人を超える追跡調査をもとに、我々が検討すべき課題、未来の地域のあるべき姿について、皆様と共に考えてみたいと思思います。

**【日時】 2026年1月24日（土）14:00～16:40
(開場13:30)**

**【場所】 静岡駅 パルシェ7階（第2・第3会議室）
YouTubeライブ配信あり**

【事前申込方法】

QRコードより、1月18日までに、
Googleフォームに必要事項をご記入
ください。

申し込まれた方全員にYouTubeのURL
と当日資料（PDF版）を数日前に配
信いたします。来場された方には当
日資料を印刷して配布いたします。



プログラム

【開会の辞】静岡大学学長 日詰一幸

第1部 高校生調査の結果から

①調査概要といくつかの論点

人文社会学部 萩野達史

②高校生の地域意識と進路形成

人文社会学部 吉田 崇

③高校生の将来像と地域社会

学生支援センター 宇賀田栄次

第2部 産業界・教育界から考える地域の役割

パネリスト：

浜松商工会議所 人材支援課課長 深津正樹

静岡県立韮山高等学校 校長 三枝美保子

静岡大学 宇賀田栄次

司会：秋枝伶子（フリーアナウンサー）

